

JAC環境動物保護財団
2024年度助成金 事前説明会

選考のポイント

【動物福祉に基にした活動】

- 伴侶動物・家庭動物の保護
- 野生生物多様性の保全
- 畜産動物の福祉
- etc

そもそも動物福祉とは

• 動物福祉 ~~=~~ 動物愛護

➡ 熱意は大事

➡ 感情論では問題は解決しない

• 動物福祉 = 科学

動物福祉とは、

- The state of the Animals
= 動物の状態

つまり、「現在生きている(生活している) 環境で動物がどのような状態にあるか（健康状態や動物の行動）」を客観的に評価する

- 健康、快適、栄養状態が良い、安全、本来の行動を示すことが可能、痛み、恐怖、苦痛等の不快な状態ではない
- 疾患予防、獣医療、適切な飼養環境、飼養管理、栄養、苦痛のない取扱、苦痛のないと殺
- 身体的および精神的ニーズを満たすこと

動物福祉とは

- 生きていれば良い訳ではない・・・！！！！

- 動物がいかに生きているか？

- どのような環境で生きているか？

- 動物がどのような管理をされているか？

- **動物がどのような状態であるか？**

動物福祉の6つの自由

1. 飢えや渇きからの自由	完全な健康と活力を維持するための新鮮な水と食餌
2. 不快からの自由	休息場所を含む適切な収容環境
3. 痛み、傷害、疾患からの自由	予防と迅速な診断および治療
4. 正常な行動を発揮する自由	十分な空間、適切な施設、動物種に合った交流
5. 恐れや苦痛からの自由	精神的苦痛を避ける環境や処置
6. 安楽死の自由	不必要な苦痛、予後不良／治療困難な疾病管理および治療の一環、公衆衛生や安全確保

動物福祉 = 人の福祉 = 社会全体の福祉

- 飼育下の全ての動物に提供しなければならない
- 動物の福祉、人の福祉や健康、環境の健康、生物多様性、持続可能な社会は全て一体である

➔One Welfare

➔JAC環境動物保護財団
の理念



One welfare :

動物福祉、人の福祉、社会環境の相互作用

5 ドメイン	動物	One welfare
栄養	健康や活力を十分に維持するための新鮮な水と食事	動物に水や食事を提供し健康や福祉を確保することは、人の健全な生活にもつながる
環境	隠れ場所や快適な休息場所などを含む適切な飼養環境	人と動物は環境資源を共有する。 動物に適切な飼養環境を提供すること➡人との健全な共生を促進する
健康	疾患予防と迅速な診断と治療	動物の健康と福祉の向上➡一緒に暮らす人の免疫系の維持に有益な効果があり、人の生活の質の向上だけでなく、仕事効率や経済生活における生産性の向上、健康面において、抗生物質の使用の削減や、現役期間の延長につながる
精神状態	精神的苦痛がない状態	動物に対して暴力的な扱いを抑止することは、人に対する暴力や虐待の抑止につながる。
行動	十分な空間、適切な施設、同種動物との同居	問題行動のない動物➡人との健全な関係性

助成の評価ポイント

- 活動の理念が財団の理念と合致しているか？
- 活動の目的が、財団の目指す将来像と合致しているか？
- 活動計画が明確かつ実現可能か？
- 活動の効果を客観的に評価できるか？
- 動物福祉を理解し、活動が動物福祉に則っているか？
- 動物福祉を担保している方法についての明確な記載があるか？
- 活動が持続可能であり、持続可能な社会に貢献するものか？
- 生物多様性保全に配慮されているか？

活動に対する支援（今後予定）

- 動物福祉向上のための支援
 - ➡ 専門家を派遣
 - ➡ 専門家による施設のコンサルテーション
 - ➡ 専門家によるアドバイス

ご清聴ありがとうございます

TNR

- 現状把握
- 目標値の明確化
- 方法の計画性
- 方法の実現可能性
- 方法の持続可能性
- 明確な結果の評価